

日本地衣学会

No.40

ニュースレター

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

目次	会務報告.....	139
	第8回青空地衣教室（大山；神奈川県伊勢原市）の記録 / 木下靖浩・安斉唯夫.....	139
	第8回青空地衣教室に参加して / 綿貫 攻.....	139
	第8回青空地衣教室（大山；神奈川県伊勢原市）で観察した地衣類リスト / 原田 浩.....	140
	会員通信.....	141
	自然環境に係わる市民団体への地衣類の紹介活動の事例（大阪府池田市） / 坂東 誠.....	141

会務報告 Reports of JSL Activities

第8回青空地衣教室（大山；神奈川県伊勢原市）の記録

去る5月30日に本年度関東地区での1回目の観察会として第8回青空地衣教室を開催することができたので報告する。

* * *

開催日：2004年5月30日（日）

開催場所；神奈川県伊勢原市阿夫利神社（あぶりじんじゃ）

内容：低地～山地の地衣類を観察する

参加者；11名

* * *

大山ケーブル駅バス停で集合し、ケーブル追分駅をスタートして、阿夫利神社への参道である女坂を登りながら地衣類を観察した。

大山は独立峰で南東側には相模湾を広く望むことができる一方、すぐ西側に丹沢山系が連なっている。観察場所は高度500m前後でそれほど高くなかったが、山地に見られる地衣も多く見られた。ウメノキゴケやハクテンゴケ、チヂレトコブシゴケ、キウラゲジゲジゴケ、エビラゴケ、トゲカワホリゴケなどの葉状地衣、ヒメレ

ンゲゴケ、コアカミゴケなどの樹枝状地衣、ヘリトリゴケやカバイロイワモジゴケ、コナイボゴケなどの痲状地衣を観察できた。阿夫利神社下社まで登る予定であったが観察会のあゆみはいつも通り“かたつむり”のごとくで、参道途中の大山寺（大山不動尊）までとなった。（写真）阿夫利神社下社境内及びその付近でも興味深い種類が認められており、次の機会に観察会を催したいと考えている。

（木下靖浩・安斉唯夫：地域活性化委員会関東）

第8回青空地衣教室に参加して

今回の青空地衣教室は丹沢の麓、大山で行われました。観察地は別名「雨降山（あぶりざん）」、しかも予報では「午後から雨」。天気が心配されましたが参加者の心がけが良いためか、降られることもなく、観察を終えることができました。大山には、2,200年以上前に創立されたといわれる大山阿夫利（あぶり）神社と775年開山の雨降山大山寺（大山不動尊）があるため、古い石垣や石塔、さらには墓石などに地衣類が豊富に生育してお



図1. 石垣に生えるトゲハクテンゴケなどを観察。撮影：安斉唯夫。

り、格好の観察場所でした。

集合場所の大山ケーブル駅バス停からケーブル追分駅まで土産物屋や食堂の建ち並ぶ道を登ります。結構急坂で、距離もあり、ウォーミングアップには少々ハードでした。講師の原田先生と合流し、観察の始まりです。

まずは、石垣に着いたキウメノキゴケの色調とトゲハクテンゴケの偽盃点、裂芽を観察しました。男坂と女坂の分岐点では偽根が白いチヂレウラジロゲジゲゴケがみられました。また、ここではマツゲゴケ属のマツゲゴケと、隣りあってリメリア・ハワイエンシスがついていました。マツゲゴケに似ているが、粉芽塊がなく、裂片先端付近ではマキュラに沿って地衣体表面が剥がれ落ちることから、木下氏が午前中に「クズレマツゲゴケ」と名づけたそうで、この和名を定着させようという声も聞かれました。

女坂を大山寺に向かって上ります。沢にかかった橋のコンクリート製の欄干上にもアナイボゴケ属の一種がついていました。原田先生によると「名前が付くのは10年後か？」とのこと。今後の研究が待たれます。

観察地は標高約400~540mですが、山地性の地衣類も多くみられました。藍藻を共生藻とするカプトゴケモドキや裂片に網目模様のないエビラゴケなどのカプトゴケ属、山地から亜高山に多いチヂレトコブシゴケな

どです。ゴンゲンゴケ属も何種類か出現し、粉芽をつけるタカハシウメノキゴケ、パステールが粉芽化するハコネゴンゲンゴケ、先端が膨れた裂芽をまばらにつけるノダケウメノキゴケなどの違いを比較して観察することができました。箱根との共通点も多いようで、低地から山地への移行帯として、大山一帯の重要性が感じられました。

大山寺のお地藏さん裏側にはコアミゴケが赤い子器をつけていました。石の欄干上には「クズレマツゲゴケ」も生育していました。日本で2種しか記録されていない岩上生のモジゴケ類の1つである

カバイロイワモジゴケを見ることができたのも収穫でした。

初めは余裕があったら阿夫利神社の下社まで登る計画でしたが、時間と空模様から大山寺までの観察となりました。中には物足りない人もいたようですが、ケーブルカーで下山しました。

午後の3時間程でしたが、有意義な観察ができました。講師の原田先生、世話人の木下氏に感謝いたします。私は前回の昭和の森に続き3度目の参加で、やっと周りの人たちの顔も覚えてきました。博物館勤務とはいえ、地衣類は全くの素人ですが、これからもできるだけ参加したいと思いますので、顔を見かけたら声を掛けて下さい。よろしくお願いいたします。

(錦貫 攻：群馬県立自然史博物館)

第8回青空地衣教室(大山；神奈川県伊勢原市)で観察した地衣類

5月30日の観察会のときに観察された地衣類のリストを示す。野外における同定に基づくものである。学名と和名は原則として「日本産地衣類および関連菌類のチェックリスト」(原田ほか2004)に従った。

葉状

- ウメノキゴケ *Parmotrema tinctorum* (Nyl.) Hale
 ニセマツゲゴケ *P. mellissii* (C.W.Dodge) Hale
 マツゲゴケ *Rimelia clavulifera* (Räsänen) Kurok.
 クズレマツゲゴケ* *R. hawaiiensis* (H.Magn.) Hale
 & Fletcher [*木下靖浩氏による新称和名]
 キウメノキゴケ *Flavoparmelia caperata* (L.) Hale
 トゲハクテングケ *Punctelia rudecta* (Ach.) Krog
 ハクテングケ *P. borrieri* (Sm.) Krog
 ウチキウメノキゴケ *Myelocroa irrugans* (Nyl.) Elix
 & Hale
 ヒカゲウチキウメノキゴケ *M. leucotyliza* (Nyl.)
 Elix & Hale
 ゴンゲンゴケ *Hypotrachyna ossealba* (Vain.)
 Y.S. Park & Hale
 ハコネゴンゲンゴケ *H. revoluta* (Flörke) Hale
 タカハシウメノキゴケ *H. pseudosinuosa* (Asah.)
 Hale
 ノダケウメノキゴケ *H. nodakensis* (Asah.) Hale
 トゲウメノキゴケ *Parmelinopsis minarum* (Vain.)
 Elix & Hale
 コナヒメウメノキゴケ *P. spumosa* (Asah.) Elix &
 Hale
 チチレトコブシゴケ *Cetrelia japonica* (Zhlbr. ex
 Yasuda) W.L.Culb. & C.F.Culb.
 キウラゲジゲジゴケ *Heterodermia obscurata*
 (Nyl.) Trevis.
 チチレウラジロゲジゲジゴケ *H. microphylla*
 (Kurok.) Skorepa
 エビラゴケ *Lobaria discolor* (Bory) Hue

- カプトゴケモドキ? *L. kurokawae* Yoshim. ?
 チチレアオキノリ *Leptogium moluccanum* (Pers.)
 Vain. var. *myriophyllum* (Müll.Arg.) Asah.
 トゲカワホリゴケ *Collema subflaccidum* Degel.

樹状

- ヒメレンゲゴケ *Cladonia ramulosa* (With.)
 J.R.Laundon
 ササクレマタゴケ? *C. scabriuscula* (Delise ex
 Duby) Nyl.
 コアカミゴケ *C. macilenta* Hoffm.
 アカミゴケ *C. pleurota* (Flörke) Schaer.
 ヒメジョウゴゴケ *C. humilis* (With.) J.R.Laundon

痂状

- ヘリトリゴケ *Porpidia albocaerulescens* (Wulfen)
 Hertel & Knoph
 コナイボゴケ *Lecanora pulverulenta* Müll.Arg.
 チャシブゴケ属の一種 (レカノラ・スブインメルゲン
 ス) *L. subimmergens* Vain.
 レブラゴケ類 *Lepraria* spp.
 カバイロイワモジゴケ *Graphis cervina* Müll.Arg.
 モジゴケ属 *Graphis* sp.
 アナイボゴケ属 *Verrucaria* sp.

[H.Harada: List of lichens observed during the field lecture "the 8th Aozora-chii-kyoshitsu" at Afuri Shrine, on Mt. Ohyama, Kanagawa-ken, central Japan, 30th May 2004.]

(原田 浩 : 千葉県立中央博物館)

会員通信 From Members

自然環境に係わる市民団体への地衣類の紹介活動の事例 (大阪府池田市)

近年、日本国民の自然環境に対する関心が高まり、自然環境の調査・研究や保全活動などを行う市民団体が数多く誕生している。筆者が現在暮らしている大阪府池田市にも、池田市およびその周辺地域における豊かな自然環境の保全と回復を目指し、多様な生き物達と人間が共生できる良好な関係を創造してゆくことを目的に掲げ

た市民団体「池田・人と自然の会」が1999年に発足しており、2004年7月現在、池田市住民など約170人が会員となっている。この市民団体では、自然環境の調査・研究および保全活動の一環として、池田市およびその周辺地域における里山の動植物観察調査、ホタルの観察調査、河川での水生生物や野鳥の観察調査、棚田の保

全活動などを行っており、会報「池田・人と自然の会だより」を定期的に発行している。

筆者は、2002年、自分が暮らす池田市の自然環境について学ぶのと同時に、地衣類について少しでも池田市住民に知ってもらおうと考えて「池田・人と自然の会」に入会し、2003年7月発行の会報「池田・人と自然の会だより第25号」で地衣類の紹介を行った。地衣類の紹介は、会報の購読者の多くが、地衣類についての知識が乏しいもの、自然環境に関心があることを考慮して、「大気汚染指標生物として有名なウメノキゴケとキウメノキゴケの説明」や「池田市およびその周辺地域におけるウメノキゴケとキウメノキゴケの分布状況の説明」を中心に紹介し、さらに地衣類に関心を持った人のために、筆者への連絡先を紹介した。地衣類の紹介が記載された会報が発行された後、筆者のもとには、水田近くの石垣から採取した葉状地衣を持った人が訪れたり、ウメノキゴケの自生している場所に関する情報が寄せられ、

「全く反響がないのでは。」と考えていた筆者にとっては、予想以上の反響を得ることができた。筆者はこの反響を踏まえて、今後さらに、池田市に自生する主な地衣類の情報などを「池田・人と自然の会だより」で紹介しようと考えている。

上記の「池田・人と自然の会」の例からも分かるように、自然環境の調査・研究や保全活動などを行う市民団体への地衣類の紹介は、地衣類に関心を持つ人を増やすのに有効であると考えられ、このような地衣類の紹介活動が広がれば、地衣類の知識を広く普及させることができるものと考えられる。したがって筆者は、日本地衣学会会員の皆様にも、自分が暮らしている地域にある自然環境の調査・研究や保全活動などを行っている市民団体への地衣類の紹介活動をして頂けるよう、呼びかけるものである。

(坂東 誠：大阪府池田市)

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外、図書館も著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体からの許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接本会へご連絡ください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 学術著作権協会。

Tel: 03-3475-5618. Fax: 03-3475-5619. E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

アメリカ合衆国における複写については、次に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc. 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA.
Phone: (978) 750-8400. Fax: (978) 750-4744

Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for

copyright for clearance by the Japanese Society for Lichenology.

Except in the U.S.A.: Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC).

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan. Tel: 81-3-3475-5618.

Fax: 81-3-3475-5619. E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

In the U.S.A.: Copyright Clearance Center, Inc. 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA.

Phone: (978) 750-8400. Fax: (978) 750-4744.

日本地衣学会ニュースレター 40号

発行日：2004年 7月15日

編集：原田浩・岡本達哉・木下靖浩・棚橋孝雄

発行者・発行所：日本地衣学会

〒010-0195 秋田市下新城中野

秋田県立大学生物資源科学部生物生産科学科内
